

令和 5 年度実施事業報告（詳細）

大学・地域共創プラットフォーム香川 共通事業 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	地域共創タウンミーティングinまんのう町
実施主体	大学・地域共創プラットフォーム香川事務局
事業目的	地域住民の方から地域が抱える課題やその課題に対する考え方を伺い、産学官の様々な主体が意見交換を行うことにより、大学・地域共創プラットフォーム香川の今後の取組みに生かす
事業内容	<u>1 開催日等</u> (1) 日 時：令和5年9月25日 (2) 場 所：まんのう町役場 <u>2 参加者</u> ・まんのう町住民5名 ・まんのう町職員1名 ・PF構成員5名 <u>3 開催内容等</u> ・まんのう町の協力のもと、まんのう町住民とPF構成員が地域課題や解決策などについて意見交換 ・空き家対策のための古民家改修補助や豊かな自然という強みを生かしたまんのう町の魅力発信など、意見交換の内容は多岐に渡り、地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着及びその人材が活躍する場の形成に向けたプラットフォームの今後の取組みの検討材料となった 

大学・地域共創プラットフォーム香川 共通事業 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	メタバース等を活用した地域DXの実証
実施主体	香川大学
事業目的	①メタバース等を活用した地域DXの実証 ②地域の業界や企業等の業務や魅力、課題を知り、学生の県内企業等への理解及び将来のキャリア意識の向上を図る
事業内容	1 開催日 令和5年8月29日 ※8月30日～9月5日は自由見学期間 2 参加者 学 生：50名（香川大学41名、四国学院大学5名、高松大学4名）全学年対象 ※自由見学期間に27名（香川大学27名） 企 業：県内企業等17団体（県内企業15、自治体2） 3 開催内容等 （1）開催内容：メタバースに県内企業等がブースを設置し、学生は興味を持った県内企業等の担当者から説明を受け、質疑応答 （2）アンケート：学生アンケートの結果、県内企業への理解度が向上するとともに、自身のキャリア観の醸成につながったことが分かった。

大学・地域共創プラットフォーム香川 進学・教育部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	出前講座・体験講座等への講師派遣
実施主体	せとうち観光専門職短期大学（出前講座）、徳島文理大学（香川わくわく子ども大学）
事業目的	出前講座や香川わくわく子ども大学の実施により、地域の教育活動を支援する
事業内容	1 出前講座・体験講座等への講師派遣 ①高校や中学校に大学等の教職員が出向き授業や講演を実施 ・実施数：75件 ・実施後アンケート：回答数22件 - 講座の内容について 期待以上だった50.0% 期待通りだった50.0% ②小学生を対象とする「香川わくわく子ども大学」を開設 ・開催数：13講座（徳島文理大学 6 講座、高松大学 2 講座、香川短期大学 5 講座） ・参加者数：小学生286名 ・実施後アンケート：回答数200件 （満足度：とても満足できた84.5%,満足できた15.0%） 

大学・地域共創プラットフォーム香川 進学・教育部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	県内大学等合同進学説明会
実施主体	香川県
事業目的	県内大学等への理解を深め、若者の県内定着を促進
事業内容	1 開催日等・参加生徒数 ①香川中央高校：令和5年6月15日／2年生 283名 ②高松中央高校：令和5年7月3日／1年生 134名 ③小豆島中央高校：令和5年7月20日／全学年希望者 135名 ④高松東高校：令和5年9月27日／1年生 240名 2 開催内容等 ・県内大学5校、短期大学3校が県内高校へ出向き県内大学の魅力を発信 ・高校生が県内大学等への進学後のイメージがつかめるよう、県内大学等に進学し、県内企業に就職した卒業生がロールモデルとして合同進学説明会に参加



事業名	高大連携キャリアデザイン研修
実施主体	高松大学・高松短期大学
事業目的	県内高校生の保護者を対象とする研修会を実施し、県内大学等に対する認知度向上を図り、自県大学進学率の向上に繋げる
事業内容	1 開催日等 (1) 開催日：令和5年12月9日 (2) 場所：かがわ国際会議場 2 参加者 県内高校生・保護者・高校教員等 【会場】 約190名 【オンライン】 約140名 3 開催内容等 ・ 県高等学校PTA連合会と連携し、「第1回県内大学・短大合同進学説明会」を開催 ・ 講演「保護者のためのキャリアガイダンス」 講師：山根正義氏（代々木ゼミナール大阪南校主幹研究員） ・ 県内大学5校・短大3校による進学説明会 学校の特色、設置学部・学科の教育内容、入試制度、奨学金制度 など



大学・地域共創プラットフォーム香川 進学・教育部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	探究型学習支援プロジェクトへの講師派遣	
実施主体	四国学院大学	
事業目的	1 校以上の高校に大学教員等を派遣し、高校の教育活動を支援する。	
事業内容	<u>1 開催日等</u> 開催日：令和5年11月24日(金) 開催場所：香川県立高松北高校 <u>2 派遣講師</u> 徳島文理大学 文学部長 濱田 宣氏 <u>3 内容</u>：探究型学習支援プロジェクトとして、 高松北高校2年グローバルスタディ成果発表会に 講師を派遣し、生徒の研究成果を指導・講評 ＜発表テーマ＞ ・どのように叱れば生徒は素直に受け入れるのか ・次世代のキャンプ場：Next Generation Camping ・交通事故を減らすためには ・人間科学 × サウナ ～運動後の疲労を早くとるには～ ・運動部活動の地域移行について ・身近な食品ロスについて	 

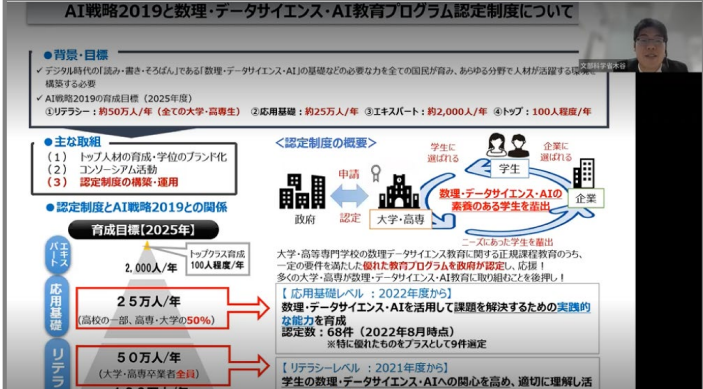
大学・地域共創プラットフォーム香川 進学・教育部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	デジタルキャンパスガイドの作成・公開
実施主体	香川県
事業目的	中学・高校教員の進路指導や生徒・保護者の進路選択にあたって役立つ情報を集約化し、県内大学・短期大学・高等専門学校や香川県の魅力を発信することで、若者の県内定着促進を図る
事業内容	1 公開日 令和5年9月28日 2 閲覧者数 2,706名(3/31時点) 3 広報 - 県内高校生向けに周知チラシを配布(10,500部。県内高校43校、中学校71校等) - 学習アプリ「Studyplus」にスポット広告掲載 4 スポット広告検証結果（サイトの課題点等） - トップページから各大学詳細ページへの流入者が少ないため、各大学紹介ページを見落とししている可能性が高いと考えられる。その為、各大学紹介ページへの導線を分かりやすくするなどの対応を検討する必要があるのではないかと考える。 - 最終的には各大学HPのトップページに誘導されているため、かがわキャンパスガイドに流入してきたユーザーを活用できていない状況にある。資料請求や見学などの分かりやすいゴール設定の検討する必要があるのではないかと考える。

大学・地域共創プラットフォーム香川 進学・教育部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	大学間の単位互換
実施主体	香川県立保健医療大学
事業目的	県内大学生等に多様かつ柔軟な学修の機会を提供することを目的とする。
事業内容	<u>1 開設科目数等</u> 554科目：香川大学、香川県立保健医療大学、 四国学院大学、高松大学、徳島文理大学、 香川高等専門学校、香川短期大学、高松短期大学 <u>2 受講者数</u> 10名 <u>3 今後の課題</u> ・地理的・時間的制約、学生の動機付けなどが課題である。 ・履修のあった科目は医療系分野などに限られている。 ・オンデマンドやeラーニング等の活用、地域志向科目などの開講、 学生への積極的な働きかけなどが必要である。

大学・地域共創プラットフォーム香川 進学・教育部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	大学等教員のFD・SD研修の実施
実施主体	香川大学、徳島文理大学
事業目的	FD・SD研修の共同実施により、大学等の教育力などの向上を図ることを目的とする。
事業内容	1 開催内容 ①「地方大学の新たな選択肢～これからの魅力ある地方大学とは～」（9/22 PF主催） 参加者数：27名 ②「危機管理シンポジウム」（12/4 香川大学主催,PF共催） 参加者数：189名（会場69名,オンライン120名） ③「数理・データサイエンス・AI共育強化拠点コンソーシアム 四国ブロックシンポジウム」（3/6 香川大学主催） 参加者数：92名（会場41名,オンライン51名）   

大学・地域共創プラットフォーム香川 進学・教育部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	学生の国際交流
実施主体	香川高等専門学校
事業目的	各大学等の外国人学生間の交流の機会を設け、交流を促進することを目的とする。
事業内容	1 開催日 令和5年12月17日(日) 2 場所 中野うどん学校 (高松校) 3 参加者 6名 (出身国：カンボジア、韓国、中国、日本) 4 開催内容 まぜて・こねて・踏んで・のばして・切る！ うどん打ち体験を通して、各大学の留学生が楽しく交流

大学・地域共創プラットフォーム香川 進学・教育部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	リスクマネジメント活動（共催）
実施主体	香川大学
事業目的	自然災害や人為災害等に対する大学等のリスクマネジメント体制を構築する
事業内容	1 開催日 令和5年12月4日 2 参加者数 189名（会場69名,オンライン120名） 3 開催内容等 危機管理シンポジウム （香川大学主催,PF香川共催） ・ 機構の活動状況報告 ・ 基調講演 講師：田中 里沙 氏 （学校法人先端教育機構事業構想大学院大学長） 演題：コミュニケーションと共創で進める 持続可能な地域づくり ・ パネルディスカッション テーマ：誰にもやさしい防災がつくる明るい未来

大学・地域共創プラットフォーム香川 進学・教育部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	地域における高等教育の中長期グランドデザイン検討会
実施主体	香川短期大学
事業目的	「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」を念頭に、長期的な高等教育の展望、教育の質の保証等について議論し、大学等の地域における教育改革や教育改善を図る。
事業内容	1 開催日 令和5年9月22日(金) 2 場所 香川大学 3 参加者数 PF進学・教育部会委員8名、他19名 4 開催内容等 (1)講演 講師：小林浩氏（リクルート進学総研 所長） 演題：「地方大学の新たな選択肢 ～これからの魅力ある地方大学とは～」 (2)協議 ・各大学等における取組 ・今後の課題 ・講師助言 など

選ばれた地方大学「小強大学」になるための2つのポイント

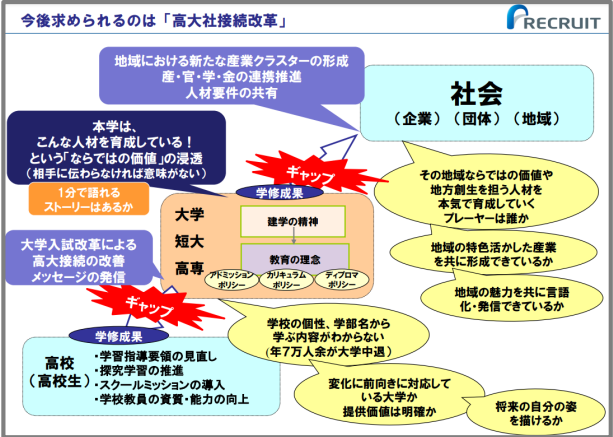
総花主義・平均主義・単独主義からの脱却

1. 大学の存在価値（本学ならではの価値＝VALUE）は明確か

- ◆本学ならではの存在価値の明確化（教育・研究・地域貢献）
⇒学内で本学の価値は共通言語化されているか（インナーコミュニケーション）
⇒エビデンスベース（ファクトを捉える）での分析が重要
- ◆地方大学の2＋1の方向性
⇒①地域の人材ニーズに応え、地域人材を育成する大学
②尖った個性を価値として全国あるいは世界から学生を集める大学
③連携・統合によって、特定地域や特定領域での総合大学化
- ◆社会および受験生に対するメッセージは明確になっているか

2. 教育・研究・人材育成に関する地域との連携は十分か

- ◆入学時だけではなく、卒業後の活躍がイメージできる大学創り
⇒偏差値序列化、グルーピングからの脱却、実力証明（サーティフィケート等）
- ◆産・官・金と連携し、その地域における産業クラスターの形成への寄与・協働
⇒ex)日本版シリコンバレーやピッツバーグ（鉄鋼産業都市→医療産業都市）
どのような強みや特長で魅力を作っていくのか？
⇒各大学の強みを活かした形での「地域連携プラットフォーム」構築も
⇒COVID19で進んだ急速なデジタル化。積極活用による新たな価値創出を



大学・地域共創プラットフォーム香川 就職・産業振興部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	「かがわーくフェア」の強化・充実（共催）
実施主体	高松商工会議所、香川県、（香川労働局）
事業目的	大学等新卒者及び既卒者の企業情報収集や転職希望者等の就職促進、県内企業の人材確保を支援することを目的とする。
事業内容	①主催：高松商工会議所 開催日：【対面】令和5年4月22日～23日 【オンライン】令和5年5月8日～15日 開催場所：高松商工会議所2階 大ホール 参加者：対面延べ148名、オンライン延べ27名 参加企業：約120社 開催内容：「企業説明会」及び「就職面接会」を対面・オンラインで実施 ②主催：香川労働局 開催日：令和6年3月11日 開催場所：サンメッセ香川 参加者：対面延べ142名 参加企業：135社 開催内容：「企業説明会」及び「就職面接会」を対面で実施



大学・地域共創プラットフォーム香川 就職・産業振興部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	業種別オンライン県内企業見学ツアー
実施主体	香川大学
事業目的	県内大学等の学生の県内企業に対する理解を増進させ、県内企業への就職及び県内定着を図る
事業内容	1 開催日 令和5年8月23日、31日、9月6日 2 参加学生 86名（香川大学23名、四国学院大学 4 名、徳島文理大学9名、 高松大学・高松短期大学 6 名、香川短期大学38名、香川高専6名） 3 参加企業 県内企業18社 4 開催内容 香川県内企業による動画等を用いた業種別の企業説明会を開催

2023

オンライン

事前申込制

県内企業見学ツアー

成長 輝く 伸びる
チャレンジ シェアトップ 独自の技術 情熱
魅力 地域貢献

様々な言葉で語られる香川の企業群、それらの企業をテンポよく巡ります。

・所要時間：各コース1時間30分
（1社約15分×6社）
・複数コースへの参加を歓迎
・人事担当者や若手社員から直接話が聞ける！
・学生はカメラ、音声ともにOFFにして参加
・質問はチャットで！

【化学・薬品メーカー、商社コース】
8月23日(水)15:30～17:00
大倉工業株式会社
秀心酒造株式会社
南陽製薬株式会社
株式会社佐賀製薬所
株式会社アムロン
大倉産業株式会社

申込期間
7/31～8/20

【機械・部品メーカーコース】
8月31日(木)15:30～17:00
新日本精工株式会社
株式会社石垣
株式会社ヒューテック
株式会社マキタ
オリエンタルモーター株式会社
株式会社長崎製作所

申込期間
7/31～8/28

【印刷・サービス、食品メーカー、流通コース】
9月6日(水)15:30～17:00
小松印刷グループ株式会社
六歌エンタプライズ株式会社
高松商運株式会社
株式会社味のりぬや
農薬法人有限会社井上誠耕園
マックスバリュ西日本株式会社

申込期間
7/31～9/3

参加対象：香川県内の各大学、短大、高専の全在生学生

参加無料

問い合わせ

申込方法

主催：大学・地域共創プラットフォーム香川 就職・産業振興部会

見学ツアー事務局：香川大学キャリア実習センター

大学・地域共創プラットフォーム香川 就職・産業振興部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	うどん県の自治体で働こう大懇談会（共催）
実施主体	香川大学
事業目的	県内自治体への就職及び若者定着を目標に、県内大学等の学生を対象とした地元自治体の就職を考える大懇談会を開催する
事業内容	1 開催日 令和5年9月20日 2 参加学生 19名（香川大学18名、四国学院大学 1 名） 3 参加自治体 県内自治体13団体 4 開催内容 県内の自治体等の担当者やOB/OGが一堂に集まる大懇談会を開催

大学・地域共創プラットフォーム香川 就職・産業振興部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	キャリア支援研修会
実施主体	香川短期大学
事業目的	県内大学等の学生の早期の就活マインドの醸成を図る、香川県で働くことの魅力を伝える
事業内容	1 <u>開催日</u> 令和5年10月24日 2 <u>開催場所</u> 高松大学・高松短期大学大ホール 3 <u>参加学生</u> 13名（香川大学3名、四国学院大学2名、徳島文理大学4名、高松大学4名） 4 <u>参加企業</u> 株式会社レクザム 5 <u>開催内容</u> (株)レクザムの人事担当者が、(株)レクザム社員の声なども紹介しつつ、県内大学等の学生に、企業目線での就職活動のポイントを解説。



事業名	学生の就職選定等の実態把握と分析																																																																																		
実施主体	香川県（商工労働部労働政策課、政策部地域活力推進課）、香川大学																																																																																		
事業目的	学生や県内企業を対象とするアンケート調査の実施により、今後のPF香川及び関係機関の若者の県内定着に繋がる検討に繋げる																																																																																		
事業内容	1 実施内容 「採用活動の状況に関するアンケート調査」 - 対象企業：香川県に本社を置く企業1,000社 - 有効回答数：348社 - 設問内容：県内企業が求める人材、 （新卒、中途採用、外国人材等） 採用活動におけるPRポイント、 採用活動スケジュール など - 調査報告書をPF構成員に周知するとともに、 ホームページで公開 - 令和6年度は、本アンケートの結果と令和4年度に実施した学生向け「就職活動の状況等に関するアンケート調査」の結果を分析することで、学生と企業との間にあるギャップを明らかにし、PF事業の提案を行うことを目標とする。 2 アンケート内容（抜粋） <新規学卒者の採用活動開始時期> n=191 <table border="1"> <thead> <tr> <th>採用活動開始時期</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>令和3年3月以前</td><td>5.8%</td></tr> <tr><td>令和3年4～6月</td><td>11.0%</td></tr> <tr><td>令和3年7～9月</td><td>5.2%</td></tr> <tr><td>令和3年10～12月</td><td>4.7%</td></tr> <tr><td>令和4年1～3月</td><td>30.4%</td></tr> <tr><td>令和4年4～6月</td><td>24.1%</td></tr> <tr><td>令和4年7～9月</td><td>9.4%</td></tr> <tr><td>令和4年10月以降</td><td>6.8%</td></tr> <tr><td>その他</td><td>2.1%</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>0.5%</td></tr> </tbody> </table> <新規学卒者の採用活動終了時期> n=191 <table border="1"> <thead> <tr> <th>採用活動終了時期</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>令和4年3月以前</td><td>0.5%</td></tr> <tr><td>令和4年4月</td><td>1.6%</td></tr> <tr><td>令和4年5月</td><td>3.1%</td></tr> <tr><td>令和4年6月</td><td>6.8%</td></tr> <tr><td>令和4年7月</td><td>3.7%</td></tr> <tr><td>令和4年8月</td><td>6.3%</td></tr> <tr><td>令和4年9月</td><td>11.5%</td></tr> <tr><td>令和4年10月</td><td>9.4%</td></tr> <tr><td>令和4年11月</td><td>5.2%</td></tr> <tr><td>令和4年12月</td><td>10.5%</td></tr> <tr><td>令和5年1月以降</td><td>35.6%</td></tr> <tr><td>その他</td><td>4.2%</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>1.6%</td></tr> </tbody> </table> <採用活動における情報発信方法> n=295 <table border="1"> <thead> <tr> <th>採用活動における情報発信方法</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>大手就職サイト</td><td>61.0%</td></tr> <tr><td>合同企業説明会(対面)</td><td>39.7%</td></tr> <tr><td>合同企業説明会(オンライン)</td><td>16.6%</td></tr> <tr><td>インターンシップ</td><td>21.4%</td></tr> <tr><td>香川県の就職サイト(ワクサボかかわ)</td><td>33.9%</td></tr> <tr><td>就活メディア(紙媒体)</td><td>11.2%</td></tr> <tr><td>SNS(X(旧Twitter), Instagram等)</td><td>10.2%</td></tr> <tr><td>OB・OG訪問</td><td>3.7%</td></tr> <tr><td>学内キャリアセンター</td><td>20.3%</td></tr> <tr><td>学内のセミナー</td><td>9.5%</td></tr> <tr><td>学内の就職サークル</td><td>0.0%</td></tr> <tr><td>キャリア支援団体(学生運営の就活サポートサイト)</td><td>3.1%</td></tr> <tr><td>ハローワーク</td><td>63.7%</td></tr> <tr><td>その他</td><td>14.2%</td></tr> <tr><td>無回答</td><td>1.0%</td></tr> </tbody> </table>	採用活動開始時期	割合	令和3年3月以前	5.8%	令和3年4～6月	11.0%	令和3年7～9月	5.2%	令和3年10～12月	4.7%	令和4年1～3月	30.4%	令和4年4～6月	24.1%	令和4年7～9月	9.4%	令和4年10月以降	6.8%	その他	2.1%	無回答	0.5%	採用活動終了時期	割合	令和4年3月以前	0.5%	令和4年4月	1.6%	令和4年5月	3.1%	令和4年6月	6.8%	令和4年7月	3.7%	令和4年8月	6.3%	令和4年9月	11.5%	令和4年10月	9.4%	令和4年11月	5.2%	令和4年12月	10.5%	令和5年1月以降	35.6%	その他	4.2%	無回答	1.6%	採用活動における情報発信方法	割合	大手就職サイト	61.0%	合同企業説明会(対面)	39.7%	合同企業説明会(オンライン)	16.6%	インターンシップ	21.4%	香川県の就職サイト(ワクサボかかわ)	33.9%	就活メディア(紙媒体)	11.2%	SNS(X(旧Twitter), Instagram等)	10.2%	OB・OG訪問	3.7%	学内キャリアセンター	20.3%	学内のセミナー	9.5%	学内の就職サークル	0.0%	キャリア支援団体(学生運営の就活サポートサイト)	3.1%	ハローワーク	63.7%	その他	14.2%	無回答	1.0%
採用活動開始時期	割合																																																																																		
令和3年3月以前	5.8%																																																																																		
令和3年4～6月	11.0%																																																																																		
令和3年7～9月	5.2%																																																																																		
令和3年10～12月	4.7%																																																																																		
令和4年1～3月	30.4%																																																																																		
令和4年4～6月	24.1%																																																																																		
令和4年7～9月	9.4%																																																																																		
令和4年10月以降	6.8%																																																																																		
その他	2.1%																																																																																		
無回答	0.5%																																																																																		
採用活動終了時期	割合																																																																																		
令和4年3月以前	0.5%																																																																																		
令和4年4月	1.6%																																																																																		
令和4年5月	3.1%																																																																																		
令和4年6月	6.8%																																																																																		
令和4年7月	3.7%																																																																																		
令和4年8月	6.3%																																																																																		
令和4年9月	11.5%																																																																																		
令和4年10月	9.4%																																																																																		
令和4年11月	5.2%																																																																																		
令和4年12月	10.5%																																																																																		
令和5年1月以降	35.6%																																																																																		
その他	4.2%																																																																																		
無回答	1.6%																																																																																		
採用活動における情報発信方法	割合																																																																																		
大手就職サイト	61.0%																																																																																		
合同企業説明会(対面)	39.7%																																																																																		
合同企業説明会(オンライン)	16.6%																																																																																		
インターンシップ	21.4%																																																																																		
香川県の就職サイト(ワクサボかかわ)	33.9%																																																																																		
就活メディア(紙媒体)	11.2%																																																																																		
SNS(X(旧Twitter), Instagram等)	10.2%																																																																																		
OB・OG訪問	3.7%																																																																																		
学内キャリアセンター	20.3%																																																																																		
学内のセミナー	9.5%																																																																																		
学内の就職サークル	0.0%																																																																																		
キャリア支援団体(学生運営の就活サポートサイト)	3.1%																																																																																		
ハローワーク	63.7%																																																																																		
その他	14.2%																																																																																		
無回答	1.0%																																																																																		

大学・地域共創プラットフォーム香川 就職・産業振興部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	学生による企業インタビューシップの実施
実施主体	①高松大学 蓮井教授、香川県中小企業家同友会 ②香川県教育委員会、香川県中小企業家同友会
事業目的	県内高校生及び大学生の企業インタビューシップによる、県内高校や大学におけるキャリア教育の拡大や実証
事業内容	① <u>インタビューシップ</u> 大学生が企業に出向いて経営者や従業員にインタビューする「インタビューシップ」を実施。地元で働く意味を考え、自身のキャリア観を見直すきっかけとなった ・開催日：令和5年12月20日 ・参加者：高松大学生（「キャリア開発演習Ⅱ」受講生9名） ・参加企業：県内企業7社 ② <u>共育型インターンシップ</u> 「地域で若者を育て地域に若者が戻る（残る）、地域に若者が希望をもって帰ってくる活動」として高校生を対象にした「共育型インターンシップ」を実施 ・開催時期：夏季休暇期間中（※志度高校は10月実施） ・参加者：県内4校 延べ225名 （三木高校、高松商業高校、飯山高校、志度高校） ・参加企業：県内企業170社



事業名	高校、大学等のイベント等を活用した地域の魅力発信																
実施主体	香川県漁業協同組合連合会、香川県農業協同組合中央会																
事業目的	高校、大学等のイベントに農業や漁業の県産品等を出展し、それらの生産販売に係る企業・団体の情報及び魅力発信を行う																
事業内容	1 開催日 令和5年10月28日 2 開催場所 香川大学（香川大学祭） 3 来場者数 464名（大学生270名、その他194名） 4 開催内容等 香川大学祭に県産農畜水産物に関するブースを設置し、その生産に関わる団体の魅力発信を行った。 5 来場者アンケート 香川県の農畜水産物を積極的に購入していきたい 副業やアルバイトとして農業・漁業に従事したい 将来的に本格的に農業・漁業に従事したい 農業・漁業を支えていく仕事に就きたい 協力したいが何をしてもよく分からない 協力できることはない <table><tr><th>回答内容</th><th>回答数</th></tr><tr><td>香川県の農畜水産物を積極的に購入していきたい</td><td>270</td></tr><tr><td>副業やアルバイトとして農業・漁業に従事したい</td><td>60</td></tr><tr><td>将来的に本格的に農業・漁業に従事したい</td><td>45</td></tr><tr><td>農業・漁業を支えていく仕事に就きたい</td><td>40</td></tr><tr><td>協力したいが何をしてもよく分からない</td><td>180</td></tr><tr><td>協力できることはない</td><td>15</td></tr></table>			回答内容	回答数	香川県の農畜水産物を積極的に購入していきたい	270	副業やアルバイトとして農業・漁業に従事したい	60	将来的に本格的に農業・漁業に従事したい	45	農業・漁業を支えていく仕事に就きたい	40	協力したいが何をしてもよく分からない	180	協力できることはない	15
	回答内容	回答数															
香川県の農畜水産物を積極的に購入していきたい	270																
副業やアルバイトとして農業・漁業に従事したい	60																
将来的に本格的に農業・漁業に従事したい	45																
農業・漁業を支えていく仕事に就きたい	40																
協力したいが何をしてもよく分からない	180																
協力できることはない	15																

大学・地域共創プラットフォーム香川 地域活性化部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	学生による観光資源の情報発信等
実施主体	香川県
事業目的	若者目線による県の魅力発信、参加学生の地域理解促進等による人材育成
事業内容	1 実施内容・効果 - 県内の観光資源を題材に、学生や地域おこし協力隊が主体となり、体験取材や記事作成を若者目線で実施し、県公式インスタグラムから情報発信 - 他の投稿を超える表示回数（リーチ数）を記録する投稿が多く、地域の魅力を知る機会を創出。また、参加学生が、県内での就職や自治体職員を志望するきっかけになった。 2 投稿内容 大学生との連携 投稿日：9/7 10/25 10/26  3/15時点リーチ数：15,350 26,489 18,692 地域おこし協力隊との連携 2/27 2/28 2/29 3/1  8,019 12,472 14,526 13,038

大学・地域共創プラットフォーム香川 地域活性化部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	アンケート調査の詳細分析等と対策検討						
実施主体	香川県						
事業目的	若者の県内定着促進のため、就職先選定における学生の思考・行動や、就職時の若者の転出超過の要因について把握・検討し、今後の取組みにつなげていく						
事業内容	1 実施内容 - 県内外の就職活動を終えた学生へのアンケート調査（R4年度実施）を基に、定性的な分析のため、大学生・企業社員へのインタビュー調査を実施 - ワーキンググループを中心に、両調査の結果から得られるポイントや今後の方向性について議論、検討 ①アンケート調査 - 令和5年1～2月に、就職活動を終えた県内外の大学生/短大生/高専生を対象にウェブアンケートを実施。 - 就職活動の実態や県内就職に係る意向等を調査。 470名が回答。 学生の傾向を定量的に把握 ②インタビュー調査 - 令和5年5～8月、香川大学生及び若手社会人を対象に、インタビュー調査を実施。 - アンケート調査の結果を受け、就職活動思考や行動についてより詳細に把握することを目的とした調査。 定量データを定性的に深掘り ③ワーキンググループでの議論 - 令和5年10月に、2回開催。 - 部会の枠を超え、産学官の各主体がアンケート調査及びインタビュー調査の結果を基に、意見交換を行い、今後の方向性について議論。 今後の取組み等を議論 2 調査結果のまとめ <table><tr><th>アンケート調査結果のまとめ</th><th>インタビュー調査結果のまとめ</th></tr><tr><td> - 大学進学で県外に出た学生は、半数以上が就職で県内に戻らず、大学進学で県内に来た学生は、大半が就職で県外に居っている。 - 給与・福利厚生が、就職活動開始時と就職先決定時のどちらにおいても最も重視されており、特に県外企業等に就職した学生や業界別では情報通信業、金融業・保険業に就職する学生において、その傾向が強い。また、回答者は、県内就職者を増やすために、県内企業等が給与を増やすべきと考えている。 - 県外就職を決めた理由として、希望する業種や職種の企業等があったことが最も多く、県内就職検討時に困難だったこととして、希望する業種や職種の企業が少ないことが最も多い回答であった。業界別では、情報通信業、サービス業、製造業でその傾向が強い。さらに、回答者は、就職時間の県外転出が多い主な原因が、県内に働きたいと思える企業や仕事が少ないからと考えている。 - 男性はより給与や企業の安定性、知名度など、仕事の条件やステータスを重視する傾向があり、女性は仕事の条件に加え、地元で働けることや職場の雰囲気、ワークライフバランスなど、仕事・生活の環境も重視する傾向がある。 - 女性の方が県内企業等への就職を検討した割合が高く、実際に県内企業等への就職をした割合も高い。 - 就職先決定時に参考にした人の中で、両親が最も多い。 - 県内出身者は、大学や就職で県外に出て、香川県への愛着を感じている。 </td><td> - 給与と福利厚生では、福利厚生を重視する傾向にあり、特に家賃補助、残業手当は必須と考える学生が多い。 - 給与では、初任給20万円以上という基準を持っている学生が多い。 - 情報通信業は、初任給22～23万円が基準であることが多い。 - 公務員志望者は、給与の基準を設けていない。 - 希望する業種や職種を決めてから、企業等を探す場合が多い。 - 希望する業種や職種の県内企業を知らない学生が多い。 - 県内の情報通信業は、規模が小さく、顧客が限定されることで就職先の候補から外れる。 - 県内企業もマイナビ・リクナビで情報収集しており、県の就職サイトの認知度は低い。 「女性が表に立つ企業であることに共感」「将来、子育てがしやすい場所に住みたい」といった環境面を重視する女子学生の声がある。 - 職場の雰囲気は、男女問わず、就職先決定時に重視するポイントとなっている。 - ケースは少ないが、両親等の影響によって、業種や勤務地が学生本人の希望から変わる場合がある。 - 県外出身者が大学在籍中に香川をよく知る機会に恵まれず、愛着を持っていないまま県外に帰っていくケースがある。 </td></tr></table>			アンケート調査結果のまとめ	インタビュー調査結果のまとめ	- 大学進学で県外に出た学生は、半数以上が就職で県内に戻らず、大学進学で県内に来た学生は、大半が就職で県外に居っている。 - 給与・福利厚生が、就職活動開始時と就職先決定時のどちらにおいても最も重視されており、特に県外企業等に就職した学生や業界別では情報通信業、金融業・保険業に就職する学生において、その傾向が強い。また、回答者は、県内就職者を増やすために、県内企業等が給与を増やすべきと考えている。 - 県外就職を決めた理由として、希望する業種や職種の企業等があったことが最も多く、県内就職検討時に困難だったこととして、希望する業種や職種の企業が少ないことが最も多い回答であった。業界別では、情報通信業、サービス業、製造業でその傾向が強い。さらに、回答者は、就職時間の県外転出が多い主な原因が、県内に働きたいと思える企業や仕事が少ないからと考えている。 - 男性はより給与や企業の安定性、知名度など、仕事の条件やステータスを重視する傾向があり、女性は仕事の条件に加え、地元で働けることや職場の雰囲気、ワークライフバランスなど、仕事・生活の環境も重視する傾向がある。 - 女性の方が県内企業等への就職を検討した割合が高く、実際に県内企業等への就職をした割合も高い。 - 就職先決定時に参考にした人の中で、両親が最も多い。 - 県内出身者は、大学や就職で県外に出て、香川県への愛着を感じている。	- 給与と福利厚生では、福利厚生を重視する傾向にあり、特に家賃補助、残業手当は必須と考える学生が多い。 - 給与では、初任給20万円以上という基準を持っている学生が多い。 - 情報通信業は、初任給22～23万円が基準であることが多い。 - 公務員志望者は、給与の基準を設けていない。 - 希望する業種や職種を決めてから、企業等を探す場合が多い。 - 希望する業種や職種の県内企業を知らない学生が多い。 - 県内の情報通信業は、規模が小さく、顧客が限定されることで就職先の候補から外れる。 - 県内企業もマイナビ・リクナビで情報収集しており、県の就職サイトの認知度は低い。 「女性が表に立つ企業であることに共感」「将来、子育てがしやすい場所に住みたい」といった環境面を重視する女子学生の声がある。 - 職場の雰囲気は、男女問わず、就職先決定時に重視するポイントとなっている。 - ケースは少ないが、両親等の影響によって、業種や勤務地が学生本人の希望から変わる場合がある。 - 県外出身者が大学在籍中に香川をよく知る機会に恵まれず、愛着を持っていないまま県外に帰っていくケースがある。
	アンケート調査結果のまとめ	インタビュー調査結果のまとめ					
- 大学進学で県外に出た学生は、半数以上が就職で県内に戻らず、大学進学で県内に来た学生は、大半が就職で県外に居っている。 - 給与・福利厚生が、就職活動開始時と就職先決定時のどちらにおいても最も重視されており、特に県外企業等に就職した学生や業界別では情報通信業、金融業・保険業に就職する学生において、その傾向が強い。また、回答者は、県内就職者を増やすために、県内企業等が給与を増やすべきと考えている。 - 県外就職を決めた理由として、希望する業種や職種の企業等があったことが最も多く、県内就職検討時に困難だったこととして、希望する業種や職種の企業が少ないことが最も多い回答であった。業界別では、情報通信業、サービス業、製造業でその傾向が強い。さらに、回答者は、就職時間の県外転出が多い主な原因が、県内に働きたいと思える企業や仕事が少ないからと考えている。 - 男性はより給与や企業の安定性、知名度など、仕事の条件やステータスを重視する傾向があり、女性は仕事の条件に加え、地元で働けることや職場の雰囲気、ワークライフバランスなど、仕事・生活の環境も重視する傾向がある。 - 女性の方が県内企業等への就職を検討した割合が高く、実際に県内企業等への就職をした割合も高い。 - 就職先決定時に参考にした人の中で、両親が最も多い。 - 県内出身者は、大学や就職で県外に出て、香川県への愛着を感じている。	- 給与と福利厚生では、福利厚生を重視する傾向にあり、特に家賃補助、残業手当は必須と考える学生が多い。 - 給与では、初任給20万円以上という基準を持っている学生が多い。 - 情報通信業は、初任給22～23万円が基準であることが多い。 - 公務員志望者は、給与の基準を設けていない。 - 希望する業種や職種を決めてから、企業等を探す場合が多い。 - 希望する業種や職種の県内企業を知らない学生が多い。 - 県内の情報通信業は、規模が小さく、顧客が限定されることで就職先の候補から外れる。 - 県内企業もマイナビ・リクナビで情報収集しており、県の就職サイトの認知度は低い。 「女性が表に立つ企業であることに共感」「将来、子育てがしやすい場所に住みたい」といった環境面を重視する女子学生の声がある。 - 職場の雰囲気は、男女問わず、就職先決定時に重視するポイントとなっている。 - ケースは少ないが、両親等の影響によって、業種や勤務地が学生本人の希望から変わる場合がある。 - 県外出身者が大学在籍中に香川をよく知る機会に恵まれず、愛着を持っていないまま県外に帰っていくケースがある。						

3 ワーキンググループでの議論

- 小中高生など、より若いころから県内企業等との関わりを持つ機会の創出が重要なのではないかな。
- 中途採用や外国人材等の様々な人材の活用にも視野を広げるべきではないかな。

事業名	関係案内所等の先進事例勉強会の開催等
実施主体	香川県
事業目的	県内の先進事例から地域活性化のポイント等を学び、他地域への活用を検討
事業内容	1 実施内容 ・講師：瀬戸内ワークス(株) 原田 佳南子 代表 ・テーマ：ローカルスタートアップや地域における人材育成の取組み ・参加者：39名（大学等教職員、学生、自治体職員、地域おこし協力隊、地域づくり団体など） ・開催場所：三豊市 2 スタートアップを生むポイント ・欲しい未来を共有する ・チャレンジする仲間を増やす ・なぜやるかを10回問い続ける ・できないことはできる人とやる ・取るリスクを明確にする ・無責任な仕事をする  

大学・地域共創プラットフォーム香川 地域活性化部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	産学官関係者の連携強化に向けた交流促進
実施主体	香川県
事業目的	県内の産学官関係者がつながり、相互理解を深め、連携事業創出の基盤をつくる
事業内容	1 実施内容 産学官連携交流会 (大学・自治体によるプレゼンテーション＋懇親会) 2 参加者 97名（大学等教職員、学生、経済団体職員、民間企業職員、自治体職員など） 3 参加者アンケート ・交流会の満足度 「大変良かった」「良かった」と90%超が回答 ・次回以降に希望するテーマ 防災、DX、Uターン転職、起業、農業・漁業など

